

## 五戸総合病院での地域研修を終えて

順天堂大学医学部附属浦安病院 初期研修医 2年

金井 彩音

もともと外科系志望で最終的に内科志望となった私にとって、内科も外科も幅広く経験できる貴院はとても魅力的な研修先でした。内科外来で生活習慣病を見ながら病棟では common diseases の管理をして、外科分野では術後管理を中心に執刀もさせていただきました。想像以上に盛りだくさんで学びの多い一か月となりました。

診る疾患の広さももちろんですが、任せていただける仕事の幅広さに衝撃を受けました。内科外来業務、がん告知/DNAR 取得といった severe IC、入院や治療の同意取得、入院後の治療計画など、基幹病院では上級医主体で行っていたことを任せていただきました。基幹病院では入院してくる患者さんを診ることはあっても、その方を外来で診て入院の同意をとるという経験はあまりありませんでした。医学的に入院が必要と判断しても、それに納得いただけるか。逆に、医学的に入院が必要でも患者さんの ADL や社会的理由から入院のデメリットの方が勝ると予想される場合、それをどのように説明し患者さんやご家族の判断をサポートするか。どの患者さんも一筋縄ではいかず、患者さんご家族のキャラクターを短時間で把握して誰にどの順番でどのような言葉で伝えたらしっかり理解し納得いただけるかを熟考する必要がありました。特に、初めてがん告知をした時は自分の IC で患者さんの今後が決まるという大きな責任を感じ準備に準備を重ねて挑みました。とても緊張しましたが、患者さんやご家族が納得感を得られ感謝の言葉をいただけた時は本当に嬉しかったです。研修医のうちにそのような経験をさせていただけたことは非常に貴重であり、私を信じて任せてくださった安藤先生やいつもサポートに入ってくくださった看護師さんに感謝しています。

また、同時期に共に研修した先生の存在も地域研修の大きな魅力でした。東北・関東・関西と幅広い地域から研修医を受け入れており、様々な環境で一年研修した先生と働くことができます。お互いの経験が異なるため、教えあえる知識や手技が豊富で非常に勉強になりました。特に、同じ患者さんでお互いがたてたアセスメント・プランについて話し合った時は医師としても診ている部分が異なることに気づき、以前より患者さんを多角的に捉えられるようになったと感じました。

紙カルテということもあって慣れない業務はたくさんありましたが、安藤先生はじめ看護師さんや事務さんに毎度助けていただき、皆様のおかげでのびのびと成長できました。本当にありがとうございました。患者さんも含め地域の方が温かく第二の故郷のように心地の良い環境で、帰るのがとても寂しかったです。さらに成長して、五戸に帰ってきたいです。またご一緒に働ける日を楽しみにしています。